

平成25年

北海道実施要綱

夏の交通安全運動

7月10日水～7月19日金



運動の重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 居眠り、飲酒運転など観光・レジャー型の交通事故防止
- 二輪車・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用

全道統一行動日 / 7月10日水 セーフティコール

●主催●

北海道、北海道警察、北海道教育委員会、札幌市、市町村、公益社団法人 北海道交通安全推進委員会
一般財団法人 北海道交通安全協会、一般社団法人 北海道安全運転管理者協会

ストップ・ザ・交通事故

《めざせ 安全で安心な北海道》



運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

運動の進め方

道、道警察、市町村、関係機関・団体等は緊密に連携し、体系的かつ効果的な交通安全運動を展開するとともに、参加・体験・実践型の交通安全教育を積極的に推進する。

通年運動 7大セーフティキャンペーン

- 高齢者事故防止
- 自転車走行ルール・マナーアップ
- シートベルト全席着用
- スピードダウン
- 飲酒運転根絶
- 居眠り運転防止
- デイ・ライト実践



運動の重点

子どもと高齢者の交通事故防止

運転者の皆さんは

子どもの飛び出しや、高齢者の横断に対応できる安全な速度で思いやりのある運転をしましょう。

高齢者の皆さんは

参加・体験型の講習会などに積極的に参加して、自分の身体機能の変化を認識し、無理な横断をしないで安全な行動を心がけるとともに反射材を身に付けて外出するようにしましょう。

家庭では

子どもや高齢者の方が、外出する時は、車に注意して、安全確認をしっかりと行うようにひと声をかけましょう。

学校などでは

基本的な交通ルールを理解させるとともに、通学路での安全指導を徹底し、特に登下校時の児童・生徒の安全を確保しましょう。

地域・町内では

通り慣れた道でも、油断することのないように、子どもや高齢者を見かけたら、ひと声をかけるとともに、安全な横断を手助けしましょう。

居眠り、飲酒運転など観光・レジャー型の交通事故防止

運転者の皆さんは

長距離・長時間の無理な運転にならないよう2時間毎に1回以上の休憩をとるようにしましょう。
● 飲酒運転は悪質な犯罪であるとの認識をしっかりと持ち、二日酔い運転を含めた飲酒運転の根絶を目指しましょう。

同乗者の方は

運転者が眠そうなときは、休憩や運転の交替を勧めましょう。
● 飲酒運転の車に同乗することは同乗罪となり、厳しい罰則があります。飲酒運転をしない、させないを徹底しましょう。

家庭では

運転中に眠気を感じたら、安全な場所で短時間の仮眠をとるなど、無理な運転は絶対にしないよう、家庭で話し合いましょう。
● 飲酒運転の悪質性や交通事故の悲惨な結果を、家庭で話し合い、家族ぐるみで飲酒運転の根絶を目指しましょう。

職場では

居眠り運転となるような、無理な運行計画になっていないか確認しましょう。
● 飲酒運転の危険性を理解させ、企業の責任として、ハンドルキーパー運動を展開するなど、飲酒運転の根絶を徹底しましょう。

地域・町内では

街頭での啓発活動を通じて、居眠り運転や飲酒運転の防止を呼びかけましょう。
● 酒類の販売店や酒類を提供する飲食店では、飲酒運転の危険性や悪質性を呼びかけ、飲酒運転の根絶を図りましょう。

二輪車・自転車乗用中の交通事故防止

運転者の皆さんは

交差点では、歩行者に対する安全確認だけではなく、二輪車や自転車の有無をしっかりと確認しましょう。

二輪車・自転車を利用する方は

ツーリングは、余裕のある安全な計画のもとに、メンバー同士で、事故防止について、事前に話し合いましょう。
● 自転車は車両であるとの原則に基づき、交通ルールを守って歩行者優先の安全運転に努めましょう。

家庭では

自転車のルールやマナーを話し合い、子どもが自転車に乗るときは、ヘルメットを着用させましょう。
● 交差点での安全確認の方法などについて、身近な道路で、具体的な安全指導をしましょう。

学校などでは

自転車安全利用五則に基づくルールやマナーを身につけさせましょう。
● 参加・体験型の交通安全教室を開催するなど、安全運転が実践できるよう指導しましょう。

地域・町内では

街頭での啓発活動を通じて、二輪車・自転車の安全運転を広く呼びかけましょう。
● 自転車の危険な運転やルール違反を見かけたら、みんなで注意しましょう。

全ての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用

運転者の皆さんは

乗車したら、運転をする前に、同乗者全員がシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しているか確認しましょう。

職場では

職場全体で、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの全席着用を徹底しましょう。

家庭では

シートベルト非着用の危険性や事故発生時の悲惨な結果について家庭で話し合い、車に乗車したときは、必ずシートベルト・チャイルドシートを着用するよう習慣づけましょう。

学校などでは

児童・生徒や保護者などに、シートベルト・チャイルドシート非着用の危険性を理解させ、全ての座席での正しい着用を実践させましょう。

地域・町内では

街頭での啓発活動を通じて、全ての座席におけるシートベルト・チャイルドシートの正しい着用について呼びかけましょう。

居眠り運転防止～2時間毎に休憩しましょう～

デイ・ライト運動を実践しましょう。